

2026/1/15
For Parents
No.11

【令和7年度 インターネット安心・安全通信】

ホントに、フィルタリングしないで大丈夫ですか！？

フィルタリング設定、どうしていますか？

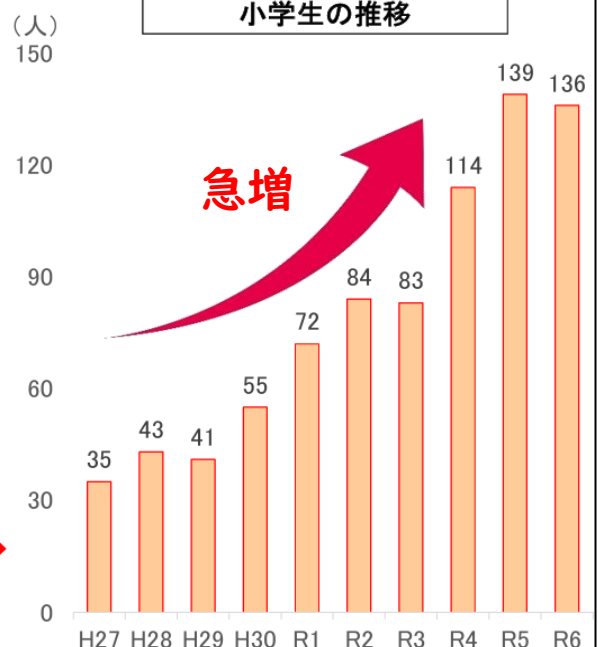
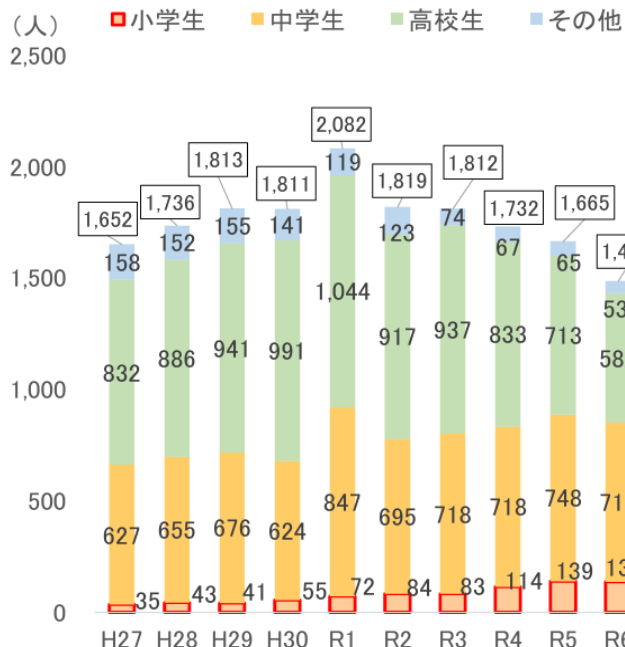
「〇〇したいから解除して」「△△くんと□□のゲームがダウンロードできなくて困った」——こんなお願いをされると、親の手間が増えると感じて、設定しないという声も聞きます。

でも、だからといってフィルタリングをしないまま、こどもが自由にインターネットを使っているとどんなリスクがあるでしょう。一緒に考えてみましょう。



SNSに起因する事犯の被害児童数は、減少傾向にある一方で、小学生は急増しています。罪種別では、重要犯罪等(殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐、人身売買、不同意わいせつ、逮捕監禁、)が増加傾向にあります。

2-4.【SNSに起因する事犯】学職別被害児童数の推移



【出典】警察庁 HP 少年非行及び子供の性被害 広報資料 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/pdf_r6_syonenkohosiryo.pdf

※SNSとは、本統計では、通信（オンライン）ゲームを含み、届出のある出会い系サイトを除いたもの。

※SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて面識のない被疑者と被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった事犯

※対象犯罪は、児童福祉法違反、児童買春・児童ポルノ禁止法違反、青少年保護育成条例違反、重要犯罪等（殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐、人身売買、不同意わいせつ、逮捕監禁）、面会要求等及び性的姿態撮影等処罰法第2条から第6条に規定する罪（面会要求等及び性的姿態撮影等処罰法違反は令和5年から追加）

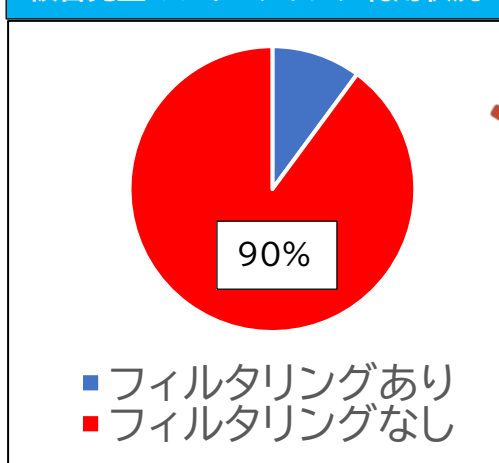
※不同意わいせつ及び不同意性交等は、令和5年7月12日以前は強制わいせつ及び強制性交等であり、単純に令和5年以前とその人数を比較できない。

被害児童数は、年々減っているといっても、1,486 人も辛い思いをしているなんて。しかも、重要犯罪等が増加傾向というのは、犯罪の件数で、単純に比較できないんですね。



被害児童数は、年々減っているのに、小学生の被害児童は急増してるなんて。他人事じゃないかも。こどもが心配!!!

被害児童のフィルタリング利用状況



被害にあったこどものスマホのフィルタリング利用状況は10%で、**90%**の子どもがフィルタリングを利用していませんでした。
フィルタリングの設定内容を、こどもに応じたレベルに調整することで、被害のリスクを大きく減らすことができます！

【参考】令和6年における少年非行及び子供の性被害の状況（警察庁）

https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/pdf_r6_syonenhikouiyokyo.pdf

**これから、お子さんのスマホを購入される方は、
携帯ショップでのフィルタリング設定をおすすめします！**

すでに、お子さんにスマホを持たせている方は、
こちらの情報を参考にしてください。↓インターネット安心安全通信（保護者向け1号）

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenan/seisyounenikusei/netannsinn_d/fil/2.pdf

※福井県青少年愛護条例では、保護者の責務としてフィルタリングの設定等により
青少年を保護するように定めています。

【お問い合わせ】

福井県防災安全部県民安全課

☎:0776-20-0296(直通)

メール: kenan@pref.fukui.lg.jp

HP: [インターネット安心・安全利用通信](#) | [福井県ホームページ](#)

X (エックス)
安全安心ふくい



CHECK!

インターネット
安心安全通信HP



CHECK!